



【本庄繁長の生涯】 権力抗争により、父房長は落命し繁長も母の胎内で刀傷を負って生れる。■13歳で父の仇である叔父を討って本庄城主(のちの村上城主)となって以来、上杉謙信に従い、川中島、関東、北陸で武功をあげた。■その後、謙信との確執から、武田信玄と通じて籠城して謙信軍1万と1年近い激戦を繰り広げたが、繁長の巧みな戦術により落城しなかった。■謙信に許された繁長はその後上杉氏に忠誠を誓った。■あとを継いだ上杉景勝の命により、庄内での最上軍との戦いを征したが、それが原因で豊臣、徳川両家の権力抗争に翻弄され、大和国に流された。■朝鮮出兵に志願して秀吉に許され、上杉軍に加わり復帰を果たす。■上杉氏の国替えに従い福島城代となり、押し寄せる伊達政宗軍2万に奇策で対抗して大打撃を与え、撤退させた。■その後、徳川への遣いとして交渉にあたり、上杉氏の存続に大きく貢献し、福島城で波乱に満ちた75年(村上で53年、郡山・福島ほかで22年)の生涯を静かに閉じた。

定価 1,200円(税込)